

かんぽの宿の現状と今後の取組み

日 本 郵 政 株 式 会 社

2 0 1 7 年 4 月 2 6 日

目 次

1	宿泊事業の経緯	・ ・ ・	P 1
2	宿泊事業の組織（体制）及び業務概要	・ ・ ・	P 2
3	かんぽの宿等の設置状況	・ ・ ・	P 3
4	かんぽの宿等の利用状況	・ ・ ・	P 6
5	宿泊事業の損益状況（2008～2015）	・ ・ ・	P 7
6	2017 年度における経営改善に向けた主な取り組み	・ ・ ・	P 8
7	2016 年度における経営改善の取り組み状況	・ ・ ・	P 9

1 宿泊事業の経緯

(1) かんぽの宿等

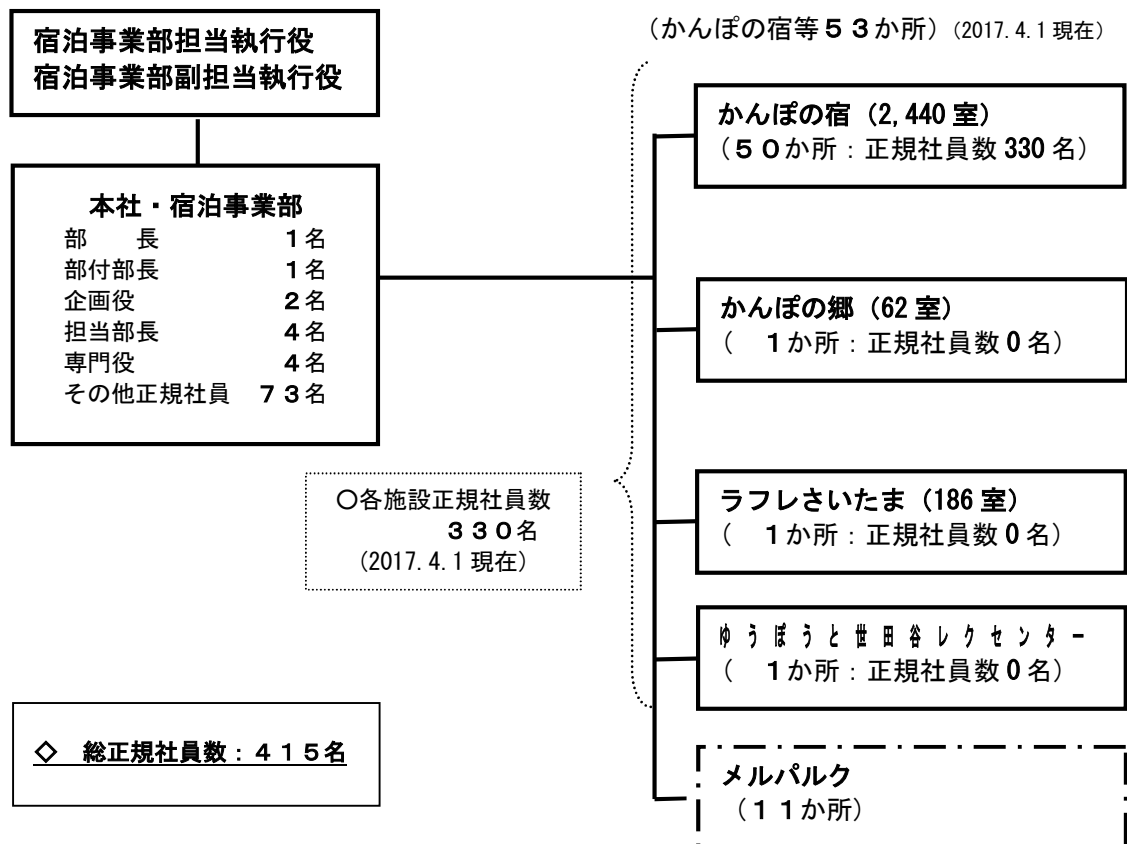
- かんぽの宿等は、郵政省が旧簡易生命保険法(昭和 24 年法律第 68 号)に基づき、簡易保険加入者の福祉増進のために設置された施設で、1955(S30)年 10 月に開業した「熱海」が最初の施設。
- 簡易保険福祉事業団の発足(1962(S37)年 4 月)に伴い郵政省から同事業団が承継し、また、日本郵政公社の発足(2003(H15)年 4 月)に伴い、同事業団から日本郵政公社が承継して運営していた。
- 郵政民営化(2007(H19)年 10 月)に伴い日本郵政株式会社が承継し、運営することとなった。
なお、郵政民営化に伴い旧簡易生命保険法が廃止されたことから、簡易保険加入者の福祉増進施設としての性格はなくなった。
- 日本郵政株式会社法では、民営化後 5 年以内に譲渡又は廃止することとされたが、2009(H21)年 12 月に、いわゆる郵政株式処分凍結法が施行され、その譲渡又は廃止が凍結されていた。
- 2012(H24)年 4 月に郵政民営化法等の一部を改正する等の法案が成立し、当分の間、かんぽの宿等の運営又は管理する業務を日本郵政株式会社が行うこととなった。
- 現在は、旅館業法に基づく許可を受けて運営しており、鋭意経営改善に取り組んでいるところ。

(2) メルパルク

- メルパルクは、郵政省が旧郵便貯金法(昭和 22 年法律第 144 号)に基づき、郵便貯金の普及を図るための周知宣伝施設として 1970(S45)年から設置したもので、その運営を旧郵便貯金振興会(現「ゆうちょ財団」(2007(H19)年 10 月名称変更))に委託。
- 郵政民営化(2007(H19)年 10 月)に伴い、日本郵政株式会社が承継して運営してきましたが、2008(H20)年 10 月から現在に至るまで、ワタベウェディング株式会社(以下、現賃借人という。)との間で定期建物賃貸借契約(各メルパルク 11 施設毎に契約)を結び、建物を賃貸している。
なお、運営は、現賃借人の再委託先であるメルパルク株式会社(ゆうちょ財団からのメルパルクに係る資産等の譲受け会社(2008(H20)年 10 月実施))が実施。
- 現行の定期建物賃貸借契約は、2015 年(H27)10 月 1 日から 2022 年(H34)9 月 30 日の 7 年間を期間としている。

2 宿泊事業の組織(体制)及び業務概要

1 組織 (体制)



【注1】 正規社員数、かんぽの宿等の数は、2017 年 4 月 1 日現在

2 業務概要

◇ 宿泊事業部

宿泊事業の運営を行う。

- 1 宿泊施設の管理及び運営
- 2 資産の管理 (※)
- 3 物品及び役務等の調達・契約 (※)
- 4 社宅の管理及び運営 (※)
- 5 利用料金設定、利用申込等に関する指導・調整
- 6 会議の開催計画、研修の企画および実施等
- 7 コンプライアンスの推進
- 8 犯罪・災害発生時の対応

(※) 宿泊事業部の所掌に属するものに限る。

◇ 宿泊施設

広く一般のお客さまに宿泊、飲食等のサービスの提供を行う。

【注2】 「かんぽの郷」、「ゆうぼうと世田谷レクセンター」については、運営を他の法人に、「ラフレさいたま」は、J P ホテルサービス株式会社 (100%子会社) に委託している。

【注3】 「ゆうぼうと」は、2015 年 9 月末をもって営業を終了。

3 かんぽの宿等の設置状況

(1) かんぽの宿

名称	所在地
1 小樽	北海道小樽市朝里川温泉 2-670
2 一関	岩手県一関市厳美町字宝竜 147-5
3 酒田	山形県酒田市飯森山 3-17-26
4 郡山	福島県郡山市熱海町熱海 3-198
5 いわき	福島県いわき市平藤間字柴崎 60
6 大洗	茨城県東茨城郡大洗町磯浜町 7986-2
7 潮来	茨城県潮来市水原 1830-1
8 塩原	栃木県那須塩原市塩原 1256
9 栃木喜連川温泉	栃木県さくら市喜連川 5296-1
10 磯部	群馬県安中市郷原 22
11 寄居	埼玉県大里郡寄居町末野 2267
12 鴨川	千葉県鴨川市西町 1137
13 旭	千葉県旭市仁玉 2280-1
14 勝浦	千葉県勝浦市鶴原 2183-5
15 青梅	東京都青梅市駒木町 3-668-2
16 箱根	神奈川県足柄下郡箱根町元箱根 159
17 石和	山梨県笛吹市石和町松本 348-1
18 諏訪	長野県諏訪市大和 2-15-16
19 富山	富山県富山市婦中町羽根 5691-2
20 福井	福井県福井市湊町 43-17
21 熱海（本館） 熱海（別館）	静岡県熱海市水口町 2-12-3 静岡県熱海市水口町 2-13-77
22 伊豆高原	静岡県伊東市八幡野 1104-5

名称	所在地
23 焼津	静岡県焼津市浜当目 1375-2
24 浜名湖三ヶ日	静岡県浜松市北区三ヶ日町都筑 2977-2
25 知多美浜	愛知県知多郡美浜町奥田砂原 39
26 恵那	岐阜県恵那市大井町 2709
27 岐阜羽島	岐阜県羽島市桑原町午南 1041
28 鳥羽	三重県鳥羽市安楽島町 1200-7
29 彦根	滋賀県彦根市松原町 3759
30 舞鶴	京都府舞鶴市上安 224-5
31 富田林	大阪府富田林市龍泉 880-1
32 大和平群	奈良県生駒郡平群町上庄 2-16-1
33 奈良	奈良県奈良市二条町 3-9-1
34 紀伊田辺	和歌山県田辺市目良 24-1
35 有馬	兵庫県神戸市北区有馬町 1617-1
36 赤穂	兵庫県赤穂市御崎 883-1
37 淡路島	兵庫県淡路市富島 824
38 竹原	広島県竹原市西野町 442-2
39 光	山口県光市室積東ノ庄 31-1
40 湯田	山口県山口市神田町 1-42
41 観音寺	香川県観音寺市池之尻町 1101-4
42 徳島	徳島県徳島市八万町中津山 3-70
43 伊野	高知県吾川郡いの町波川 1569
44 北九州	福岡県北九州市若松区大字有毛 2829
45 柳川	福岡県柳川市弥四郎町 10-1
46 島原	長崎県島原市白山町 8362-3

名称	所在地
47 別府	大分県別府市大字鶴見 457
48 日田	大分県日田市中ノ島町 685-6
49 阿蘇	熊本県阿蘇市一の宮町宮地 5936
50 日南	宮崎県日南市大字星倉 2228-1
51 庄原	広島県庄原市新庄町 281-1
52 うれさいたま	埼玉県さいたま市中央区新都心 3-2
53 世田谷レクセナー	東京都世田谷区鎌田 2-17-1

※ 民営化時（2007.10）の施設数は71。2014年9月末に十勝川・横手・草津・山代・修善寺の5か所、2014年12月末に白山尾口、2015年3月末に宇佐、2015年9月末に三ヶ根・熊野・白浜・皆生・美作湯郷・坂出・道後・山鹿・那覇レクセンターの9か所、2016年3月末に松島、2016年5月24日に柏崎を廃止

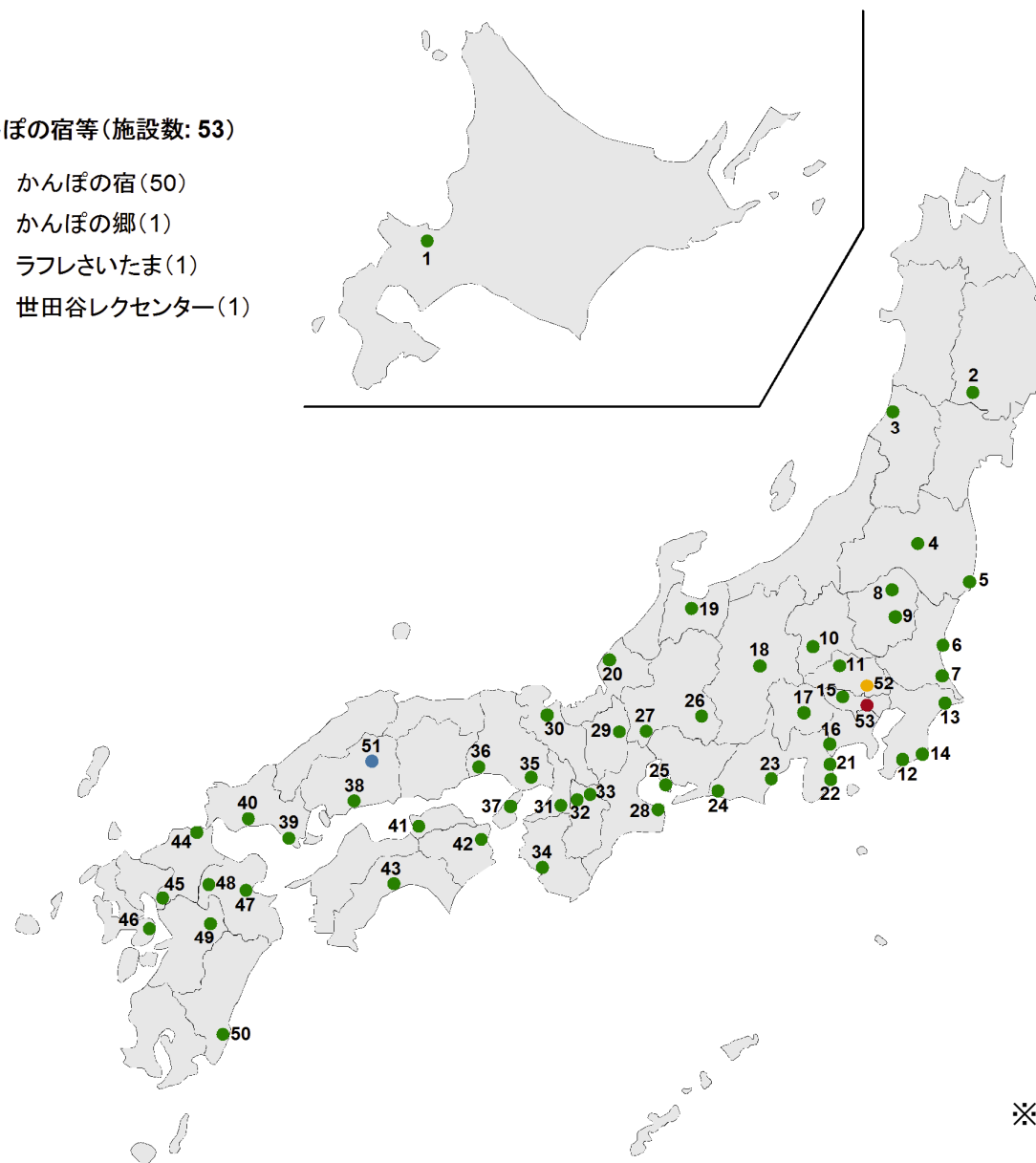
※ 舞鶴(30)及び島原(46)は休館中。

(2) メルパルク

	施設名	所 在 地
1	メルパルク 仙台	仙台市宮城野区榴岡 5-6-51
2	メルパルク 東京	港区芝公園 2-5-20
3	メルパルク 横浜	横浜市中区山下町 16
4	メルパルク 長野	長野市鶴賀高畑 752-8
5	メルパルク 名古屋	名古屋市東区葵 3-16-16
6	メルパルク 大阪	大阪市淀川区宮原 4-2-1
7	メルパルク 岡山	岡山市北区桑田町 1-13
8	メルパルク 広島	広島市中区基町 6-36
9	メルパルク 松山	松山市道後姫塚 123-2
10	メルパルク 熊本	熊本市中央区水道町 14-1
11	メルパルク 京都	京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町 676-13

かんぽの宿等(施設数: 53)

- かんぽの宿(50)
- かんぽの郷(1)
- ラフレさいたま(1)
- 世田谷レクセンター(1)



※それぞれの番号は P3 と連動

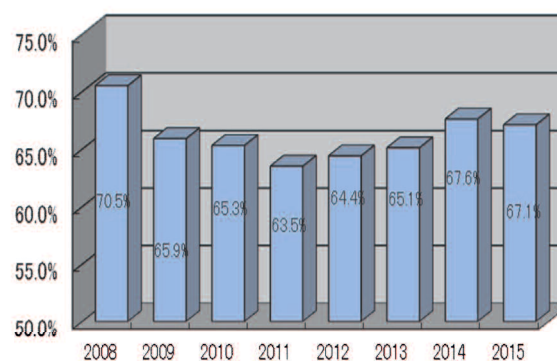
4 かんぽの宿等の利用状況

① 宿泊利用人数

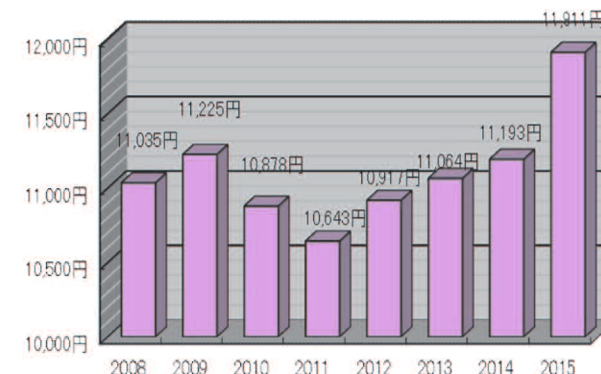


宿数 71 71 71 71 71 71 64 55

② 客室稼働率



③ 宿泊単価



	2008 年度	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度
① 宿泊利用人数	205 万人	191 万人	190 万人	180 万人	180 万人	179 万人	169 万人	149 万人
② 客室稼働率	70.5%	65.9%	65.3%	63.5%	64.4%	65.1%	67.6%	67.1%
③ 宿 泊 単 価	11,035 円	11,225 円	10,878 円	10,643 円	10,917 円	11,064 円	11,193 円	11,911 円

宿泊業界全体における2015年の延べ宿泊者数は5億408万人泊（前年比+6.5%）と、2007年の調査開始以来、最高となった。このうち日本人延べ宿泊者数は、前年の消費税増税等の影響による減少からの反動、円安等による海外旅行から国内旅行へのシフト傾向等が要因となり、4億3,846万人泊（前年比+2.3%）となった。また、外国人延べ宿泊者数は6,561万人泊と、訪日外国人旅行者数の増加を受け前年比+46.4%と大幅に伸びた。

客室稼働率は全体で60.3%となり、特にシティホテル（79.2%）、ビジネスホテル（74.2%）の稼働率が高くなっている。（観光庁「宿泊旅行統計調査」）。

一方、かんぽの宿においては、2014年度及び2015年度に一部の不採算宿を廃止したことや、箱根山における噴火等の自然災害の影響もあり、宿泊利用人数が減少したものの、客室稼働率及び宿泊単価は2012年以降増加傾向が継続している。

5 宿泊事業の損益状況(2008～2015)

単位：億円

		2008 年度	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度
かんぽの宿等	営業収益	376	352	341	317	322	318	303	281
	営業費用	428	384	373	347	336	337	332	300
	営業損益	▲52	▲32	▲32	▲29	▲14	▲18	▲29	▲19

※ 上記の数値は、財務会計上のものである。

※ 億円未満は、切り捨て。

6 2017 年度における経営改善に向けた主な取り組み

宿の魅力度の向上～選ばれる商品の提供～

- 1 ブランド戦略の構築・実践
- 2 CSの向上及びサービスの充実
- 3 リニューアル・修繕の計画的な実施

事業運営態勢の整備

- 1 組織態勢の強化
- 2 人材の育成
- 3 内部管理体制の強化・コンプライアンスの推進
- 4 適正な労働管理の推進

働きがいのある職場づくり～ESの向上

- 1 モチベーションの向上
- 2 組織の活性化

地域・社会貢献

- 1 地域の魅力の積極的な発信
- 2 災害発生時に備えた取り組み

利益の拡大～収益の拡大と費用の抑制と管理

- 1 P D C A 分析の実践・展開
- 2 収益の拡大
 - (1) 販売チャネルの拡充
 - (2) 新規顧客獲得の取り組み強化
 - (3) 宣伝活動の拡充
 - (4) 商品開発・販売管理の向上
 - (5) メルパルクの将来の収益拡大に係る検討・整理
- 3 費用の抑制
 - (1) コスト管理
 - (2) 人材の効率的な配置

7 2016 年度における経営改善の取り組み状況

ブランド戦略の構築と設備投資の推進

1 宿泊事業のブランド戦略の構築・実践

⇒ かんぽの宿メンバーズカード会員及び一般消費者の利用動向の分析を実施して、かんぽの宿に対するブランドイメージやニーズを調査

2 宿の魅力の維持・向上のための設備投資等

⇒ かんぽの宿熱海別館のリニューアルを実施し、7/15 にオープン

収益の拡大と費用削減の拡充

1 経営改善に向けた損益管理の確実な実施

⇒ 各宿の収益・費用の現状把握・早期対策を講じるためのP D C A 分析を実践・展開し、不振となっている宿に対してW e b 会議等により指導を実施

2 収益の拡大

(1) 販売チャネルの拡充

ア W e b サイト(自社・ネットエージェント)の活用
⇒ 新予約システムを12/1 にリリース

イ リアルエージェントの拡充
⇒ 契約先を1 社から3 社契約として販路を拡大

ウ J P グループ各社との連携強化
⇒ グループ各社が実施するキャンペーンに参画等

エ インバウンドの獲得

⇒ 海外予約サイト(Agota 等)と送客契約を締結するとともに、ロビーWifi 等を設置

(2) 顧客への宣伝活動の拡充

ア 全国プロモーションの実施

⇒ 旅行需要期である夏休み及び秋の行楽シーズンに全国プロモーションを実施。秋の全国プロモーションに反映させるための料理コンテストについて、お客さまを招いた地方大会(8 地域)を開催、決勝大会を6 月に東京で開催

イ かんぽの宿の認知度向上

⇒ 1/14~29(内11 日間)、地上波TV スポットCMに「かんぽの宿」のCMを出稿。CMにと併せて、地域情報誌への掲載を実施

ウ かんぽの宿メンバーズカード(KMC)会員の新規獲得と囲い込み

⇒ 総額3,000 万ポイントキャンペーンを4 月~6 月に実施

(3) サービスの向上

⇒ 本社にCS 専担セクションを設置し、各地域1 宿(全6 宿)を対象として、本社と地域統括宿が連携して現地指導を実施

3 費用削減の拡充

(1) 飲食部門等の原価管理の強化・推進

⇒ 日別の売上・仕入れ額等の管理、月別の飲食利益率及び食材等原価率の情報提供等を実施

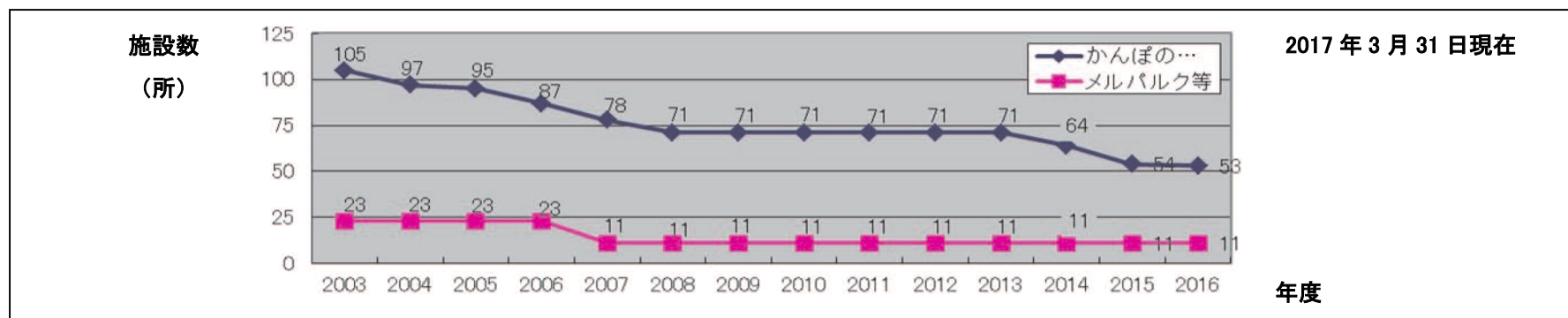
(2) 水道光熱費、燃料費の使用量管理の徹底

⇒ 昨年度の使用量に基づき各宿の指導を実施

(3) 調達手法の改善

⇒ お客さま利用物品等のカタログ調達及びWeb を用いた食材発注スキームを試行

1 施設数の推移



2 公社以降に廃止したかんぽの宿等

(1) かんぽの宿等

廃止時期	廃止施設数	施設名
2004(H16)年3月末	8施設	網走、洞爺、碓ヶ関、男鹿、越中庄川峡、伊予肱川、土佐中村、日向
2005(H17)年3月末	2施設	大沼、十和田
2006(H18)年3月末	8施設	層雲峡、白石、盛岡、米沢、佐渡、妙高高原、安芸能美、阿波池田
2007(H19)年3月末	9施設	山中湖、鹿教湯、能勢、但馬海岸豊岡、鳥取岩井、三瓶、遙照山、武雄、指宿
2007(H19)年6月末	1施設	浦安
2007(H19)年8月末	6施設	札幌健診、仙台健診、東京健診、名古屋健診、大阪健診、広島健診
2014(H26)年9月末	5施設	十勝川、横手、草津、山代、修善寺
2014(H26)年12月末	1施設	白山尾口
2015(H27)年3月末	1施設	宇佐
2015(H27)年9月末	9施設	三ヶ根、熊野、白浜、皆生、美作湯郷、坂出、道後、山鹿、那覇レクセンター
2016(H28)年3月末	1施設	松島
2016(H28)年5月24日	1施設	柏崎
合 計	52施設	

(2) メルパルク等

廃止時期	廃止施設数	施設名
2006(H18)年10月末	4施設	ぱるるプラザ青森、町田、岐阜、山口
2007(H19)年3月末	8施設	メルパルク札幌、新潟、金沢、福岡、沖縄 メルモンテ日光霧降、メルパール伊勢志摩、ぱるるプラザ千葉
合 計	12施設	

※「ゆうぼうと」は、2015(H27)年9月末をもって営業を終了。